

第2次伊奈町環境基本計画【改訂版】及び  
第4次伊奈町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）  
実施報告書  
（令和5年度実績）

伊奈町

# 目次

第1部 第2次伊奈町環境基本計画【改訂版】	
第1章 伊奈町環境基本計画について	2
第2章 実施状況	
基本施策(1) まちに残る貴重な緑を守り育てよう	5
基本施策(2) 里地里山環境を守ろう	5
基本施策(3) きれいな水辺を取り戻そう	6
基本施策(4) 公害のないまちにしよう	6
基本施策(5) 安全で快適なまちをつくろう	7
基本施策(6) きれいで衛生的なまちにしよう	7
基本施策(7) ごみを減らそう	8
基本施策(8) 資源を大切にしよう	8
基本施策(9) 環境のことを学ぼう・話し合おう	9
基本施策(10) 力を合わせて行動しよう	10
第2部 第4次伊奈町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)	
第1章 計画の概要	11
第2章 達成状況	12

## 第1部 第2次伊奈町環境基本計画【改訂版】

### 第1章 伊奈町環境基本計画について

#### 1 計画の概要

「伊奈町環境基本条例」第3条に定められた基本理念の実現に向けて、「第2次伊奈町環境基本計画」を策定し、地球規模化・複雑化する環境問題に対応し、快適な生活を維持できるよう、地域の実情に適した施策を総合的かつ計画的に推進することを目的としています。

#### 2 計画の対象

##### (1) 推進主体

町民・事業者・町の三者が一体となって計画を推進することとします。

##### (2) 対象地域

伊奈町全域とします。なお、広域的な取り組みが必要な問題については、国、埼玉県、近隣自治体との連携を図ります。

##### (3) 対象とする環境

A) 自然環境に関するもの	森林、河川、里地里山、動植物 など
B) 生活環境に関するもの	大気質、水質、有害化学物質、騒音・振動、悪臭、景観、交通、環境美化 など
C) 地球環境に関するもの	廃棄物、リサイクル、資源、再生可能エネルギー、地球温暖化対策 など
D) 環境に関する取り組み	環境保全活動、環境教育・学習、環境情報、三者（町民・事業者・町）協働 など

### 3 計画の目標期間

対象とする期間は、環境基本計画の改訂版としての令和2年度から令和6年度までの5年間としています。

生活環境や経済情勢などが大きく変化し、環境基本計画との整合性が図れなくなった場合や、進捗管理における評価結果において修正が必要と判断された場合には、適宜見直しを行います。

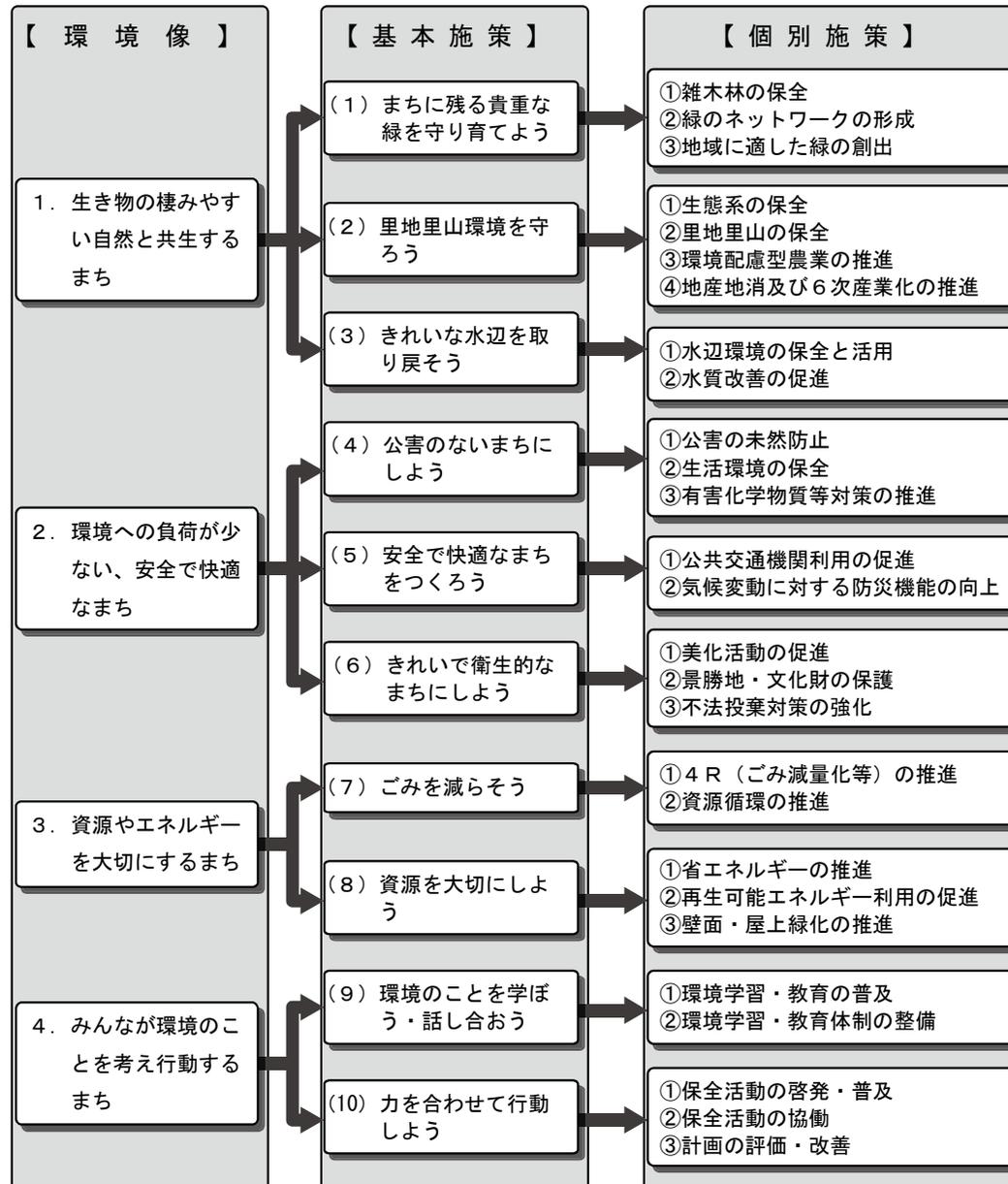
計画の期間



#### 4 施策の体系

4つの環境像を基に、10の基本施策とそれに対応した個別施策を設定しています。

施策の体系



## 第2章 実施状況

### 基本施策（1）まちに残る貴重な緑を守り育てよう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
① 雑木林の 保全	「緑のトラスト保全地」 ボランティア登録者数	47人	46人	45人	40人	34人	50人	未達成

#### 令和5年度の取組

- ・ボランティア登録について、年に数回の問い合わせがありました。また、緑のトラスト保全地の桜の木を維持するため、施肥をするなどの樹勢回復を施しました。（都市計画課）

#### 目標達成に向けての動き

- ・（公財）さいたま緑のトラスト協会にて緑のボランティアセミナーの実施等をしていきます。（都市計画課）

### 基本施策（2）里地里山環境を守ろう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
② 里地里山の保全	担い手の数	18人	18人	29人	33人	34人	21人	達成
④ 地産地消及び6 次産業化の推進	学校給食における 地場産物使用割合	20.9%	25.6%	21.0%	22.9%	23.3%	22.0%	達成

※担い手は、認定農業者、認定新規就農者、集落営農のこと。

#### 令和5年度の取組

- ・各種関係農業組合への運営補助金の交付や農業担い手対策として、新規就農奨励金等の交付など、生産団体や営農意欲のある農業者の育成支援を図りました。（アグリ推進課）
- ・地場産物である米、人参、キャベツ、白菜、大根、玉ねぎ、ねぎ、じゃがいも等を（学校給食に）積極的に取り入れています。（学校教育課）

#### 目標達成に向けての動き

- ・県や農協などと連携し、新規就農希望者に対する相談窓口の開設や、安定的経営を目指す農業者に対し、認定農業者制度のメリットや手続きについて情報提供を行います。（アグリ推進課）
- ・JAやアグリ推進課と連携を図り、地場産物を積極的に使用していきます。（学校教育課）

### 基本施策（3）きれいな水辺を取り戻そう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
②水質改善の促進	水質検査結果（BOD） 環境基準 C 類型：5mg/L 以下	2.6mg/L	2.1mg/L	2.8mg/L	2.4mg/L	3.4mg/L	3mg/L	未達成
	水質検査結果（SS） 環境基準 C 類型：50mg/L 以下	17mg/L	13mg/L	17mg/L	13mg/L	15mg/L	6mg/L	未達成

※BOD とは「生物化学的酸素要求量」のことで、川から採水した水を密閉したガラス瓶に入れ、20℃を保ったまま5日間暗所で培養したときに、水中の有機物が好気性微生物により分解される過程で消費される水中の酸素量（溶存酸素量）のこと。

※SS とは「浮遊物質量」あるいは「懸濁物質量」のことで、水中に浮遊又は懸濁している直径2mm以下の物質の量のこと。

#### 令和5年度の取組

- ・生活排水による水質汚濁を防止するため、浄化槽の適正な維持管理を広報いなどで周知しました。町補助金の交付を受けて単独浄化槽から合併浄化槽へ転換した法定検査未受検者へ受検依頼（通知）を送付しました。（環境対策課）

#### 目標達成に向けての動き

- ・公共下水道の普及を進めると同時に、公共下水道整備計画区域外での単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進します。また、浄化槽の維持管理を周知し、生活排水による水質汚濁の防止に努めていきます。（環境対策課）

### 基本施策（4）公害のないまちにしよう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
②生活環境の保全	公害に関する相談 件数	12件	8件	5件	3件	7件	10件	達成

#### 令和5年度の取組

- ・苦情相談に対して迅速に対応し、同一事業所からの公害再発に努めました。（環境対策課）

#### 目標達成に向けての動き

- ・法律、条令に基づき町から事業者へ対策を依頼、指導し、公害の再発に努めていきます。（環境対策課）

基本施策（5）安全で快適なまちをつくろう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
① 公共交通機関利用の促進	ニューシャトルの 1日平均乗車人員	17,559人	13,700人	15,375人	17,236人	18,756人	18,900人	未達成
	町内循環バスの 年間利用者数	35,423人	29,547人	34,169人	41,315人	48,775人	40,000人	達成

令和5年度の取組

- ・ニューシャトルの利用者が快適に利用できるよう、駅エレベーター設置に向けた調査を行いました。（危機管理課）
- ・定期的な道路パトロールを実施し、道路破損箇所等の補修及び修繕に早急に対応することで、良好な道路環境の維持に努めました。（土木課）

目標達成に向けての動き

- ・駅エレベーター設置等の環境づくりを推進します。また、町内循環バスは、より利便性の高い公共交通を目指し、バス事業者等と協力しニーズに対応した運行体制等を検討します。（危機管理課）
- ・側溝、舗装の修繕・改修や、引続き道路パトロールを実施することで、通行の安全確保及び生活環境の向上を図ります。（土木課）

基本施策（6）きれいで衛生的なまちにしよう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
③ 不法投棄 対策の強化	不法投棄の件数	51件	47件	79件	72件	94件	20件	未達成
	あき地の除草依頼件数	88件	73件	84件	150件	147件	60件	未達成

令和5年度の取組

- ・放置されたあき地の除草依頼を土地所有者へ行いました。また、広報いなや町HPであき地の管理について啓発をし、刈り払い機の無料貸し出しについても周知しました。（環境対策課）

目標達成に向けての動き

- ・前年度に複数回除草依頼が寄せられたあき地については、予め町で現地確認のうえ土地所有者へ土地の適正管理を依頼します。（環境対策課）

## 基本施策（7）ごみを減らそう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
① 4R（ごみ減量化等）の推進	1人1日あたりのごみ排出量	836g/日	844g/日	821g/日	808g/日	784g/日	800g/日	達成
	ごみの資源化率	14.8%	16.6%	17.6%	17.0%	16.5%	17.5%	未達成

※4R：環境と経済が両立した循環型社会を目指すための取り組み。本計画で取り組む4Rには、リフューズ、リデュース、リユース、リサイクルが含まれる。

### 令和5年度の取組

- ・炉を一時的に休止したことにより可燃ごみ・不燃ごみの年間搬入量が減少し、1人1日あたりのごみ排出量は減少しましたが、資源化率は低下しました。（クリーンセンター）

### 目標達成に向けての動き

- ・町のHPや広報いな等を活用し、ごみの分別・減量化等の啓発及び情報周知をより一層図っていきます。（クリーンセンター）

## 基本施策（8）資源を大切にしよう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
① 省エネルギーの推進	二酸化炭素排出量 （県推計）	211.2千t- CO <sub>2</sub>	202.5千t- CO <sub>2</sub>	202.3千t- CO <sub>2</sub>	県推計中	県推計中	171.3千t- CO <sub>2</sub>	—
② 再生可能エネルギー利用の促進	住宅用省エネルギー 設備設置費奨励金件数	16件	37件	57件	85件	112件	150件	未達成

※奨励金件数の実績は、令和元年度から令和5年度までの累計。

### 令和5年度の取組

- ・令和4年度から省エネ設備奨励金のメニューに加えた高断熱窓は2件の申請がありました。広報いな等で、省エネ設備の推進を町民に促しました。（環境対策課）

目標達成に向けての動き

- ・第4次伊奈町地球温暖化対策実行計画事務事業編及び区域施策編（策定中）を推進し、脱炭素やSDGsの大切さを啓発していきます。（環境対策課）

基本施策（9）環境のことを学ぼう・話し合おう

個別施策	指標	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	達成状況
① 環境学習・教育の普及	イベントの来場者数	160,487人	122人	37,300人	124,500人	152,700人	160,000人	未達成
	自然観察会などの事業開催	1回	0回	0回	1回	1回	3回	未達成

イベント来場者数内訳

イベント名	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
さくらまつり	26,000人	中止	11,000人	14,000人	15,000人
バラまつり	58,000人	中止	23,000人	49,000人	66,000人
伊奈まつり	50,000人	中止	中止	40,000人	45,000人
楽しいな～商工フェスティバル～	16,000人	中止	中止	17,000人	15,000人
秋バラまつり	8,000人	中止	3,000人	4,000人	11,000人
散策路イベント	172人	中止	開催なし	開催なし	開催なし
婚活イベント	15人	開催なし	開催なし	開催なし	開催なし
忠次公レキシまつり	800人	122人	300人	500人	700人
圏央道から魅力発見！1市3町1村共同PR事業	1,500人	中止	中止	中止	中止
トラスト保全地の自然観察とタケノコ掘りを楽しむ	1回	中止	中止	1回	1回
緑のトラスト第13号地ふれあい・体験イベント	廃止				

※自然観察会などの事業開催には、「トラスト保全地の自然観察とタケノコ掘りを楽しむ」、「緑のトラスト第13号地ふれあい・体験イベント」の実施回数が含まれています。

### 令和5年度の取組

- ・散策路イベント、婚活イベント以外は例年通り開催しました。(元気まちづくり課)
- ・タケノコ掘りについては、令和5年4月16日に実施しました(都市計画課)
- ・伊奈氏屋敷跡内の公有地(二の丸跡・裏門跡等)における除草・樹木伐採を行い、見学できる環境の維持及び倒木等による遺構の損壊を予防しました。(生涯学習課)

### 目標達成に向けての動き

- ・広報いなやSNS等を用いて周知します。(元気まちづくり課)
- ・(公財)さいたま緑のトラスト協会にて、広報いな等に情報を掲載します。(都市計画課)
- ・今後も『伊奈氏屋敷跡保存活用計画』を基に、公有地における遺構等の維持管理を行うとともに、民有地においても歴史的景観を維持できるよう協力を求めています。(生涯学習課)

### 基本施策(10)力を合わせて行動しよう

個別施策	指標	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 目標	達成 状況
② 保全活動の協働	環境保全活動の参加人数	172人/年	中止	中止	83人/年	59人/年	600人/年	未達成

### 環境保全活動参加人数内訳

イベント名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績
綾瀬川クリーン大作戦	中止	中止	中止	83人	59人
伊奈備前守忠次公による散策路整備イベント	172人	開催なし	開催なし	開催なし	開催なし

### 令和5年度の取組

- ・広報いな等で一般募集をした町民ボランティアとともに職員及び関係機関からの参加者で実施し、180kgのごみを収集しました。(環境対策課)

### 目標達成に向けての動き

- ・町民ボランティアの募集に際し、より多くの世代、町民に参加してもらえよう他課と調整をしていきます。(環境対策課)

## 第2部 第4次伊奈町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

### 第1章 計画の概要

伊奈町では、地球温暖化対策の推進に関する法律及び基本方針に基づき、令和元年度に第4次伊奈町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定し、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。

第4次伊奈町地球温暖化対策実行計画では、町が行うすべての事務・事業から発生する温室効果ガスの排出を抑制するため、率先して地球温暖化対策の推進を図ることを目的としています。計画期間は令和2年度から令和12年度までの11年間とし、対象範囲は町庁舎をはじめとする公共施設におけるすべての事務・事業とします（指定管理事業も含む）。目標は以下のとおりです。

全公共施設における電気・燃料・水道・公用車燃料使用量及び町庁舎における用紙類使用量について、平成25年度を基準年度とし、令和12年度までに温室効果ガスの総排出量を、7.8%削減することを目標としています。

基準年度（平成25（2013）年度実績）      目標年度（令和12（2030）年度）  
7, 772 t-CO<sub>2</sub>            7, 166 t-CO<sub>2</sub>

#### 温室効果ガスの種類

ガスの種類	人為的な発生源	伊奈町における算定対象物質
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	電気の使用や暖房用灯油、自動車用ガソリン等の使用により排出される。排出量が多いため、温室効果ガスの中では温室効果への寄与が最も大きい。 また、廃プラスチック類の焼却等により排出される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガソリン、軽油、灯油、A重油、都市ガス、LPGの使用量</li> <li>・電気使用量</li> <li>・一般廃棄物焼却量のうち廃プラスチックの焼却量</li> </ul>
メタン (CH <sub>4</sub> )	自動車の走行や燃料の燃焼、一般廃棄物の焼却、廃棄物の埋立等により排出される。 二酸化炭素と比べると重量あたり約25倍の温室効果がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の走行量</li> <li>・一般廃棄物の焼却量</li> </ul>
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	自動車の走行や燃料の燃焼、一般廃棄物の焼却等により排出される。 二酸化炭素と比べると重量あたり約298倍の温室効果がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の走行量</li> <li>・一般廃棄物の焼却量</li> </ul>
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	カーエアコンの使用・廃棄時等に排出される。 二酸化炭素と比べると重量あたり約140～11,700倍の温室効果がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーエアコン使用時の排出量（自動車保有台数）</li> </ul>

## 第2章 達成状況

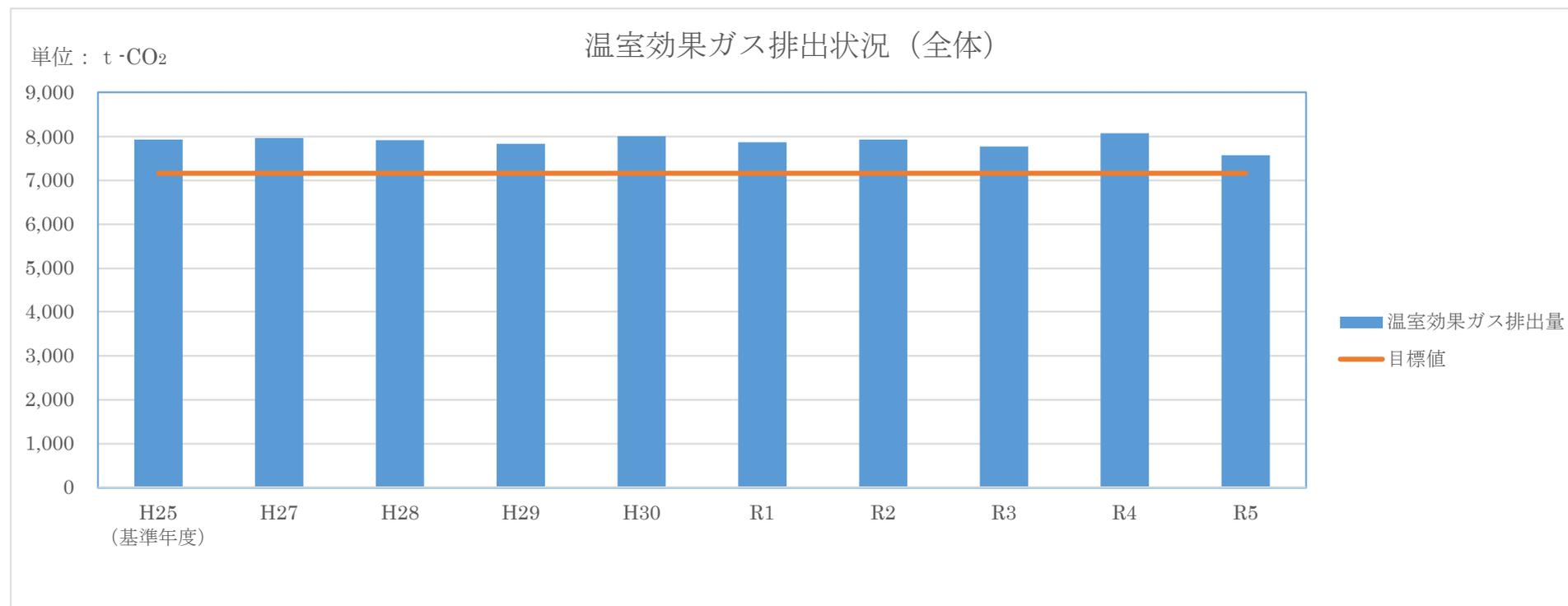
### 1 伊奈町の公共施設における温室効果ガス排出量

町の全公共施設における温室効果ガス排出量を「役場庁舎・各施設(クリーンセンターを除く)から排出された温室効果ガスの量」と「クリーンセンター(町全体のごみ焼却)から排出された温室効果ガスの量」に分けております。

#### 町の全公共施設における温室効果ガスの排出量 (t-CO<sub>2</sub>)

令和5年度は、消防の広域化により伊奈消防が上尾市に移管されたことや、クリーンセンターの炉を一時的に休止させたことによるごみ焼却量の減少により、温室効果ガスの排出量は減少しました。

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
温室効果ガス排出量の合計	7,967	7,921	7,833	8,009	7,871	7,930	7,772	8,077	7,572
目標値(令和12年度)	7,166								



役場庁舎・各施設（クリーンセンターを除く）から排出された温室効果ガスの量（t-CO<sub>2</sub>）

「電気使用量」による温室効果ガス排出量は「彩の国ふるさとでんき」を活用することで非化石燃料由来のものとなり、温室効果ガスの排出量が0となったことで温室効果ガスの排出量が低下しています。

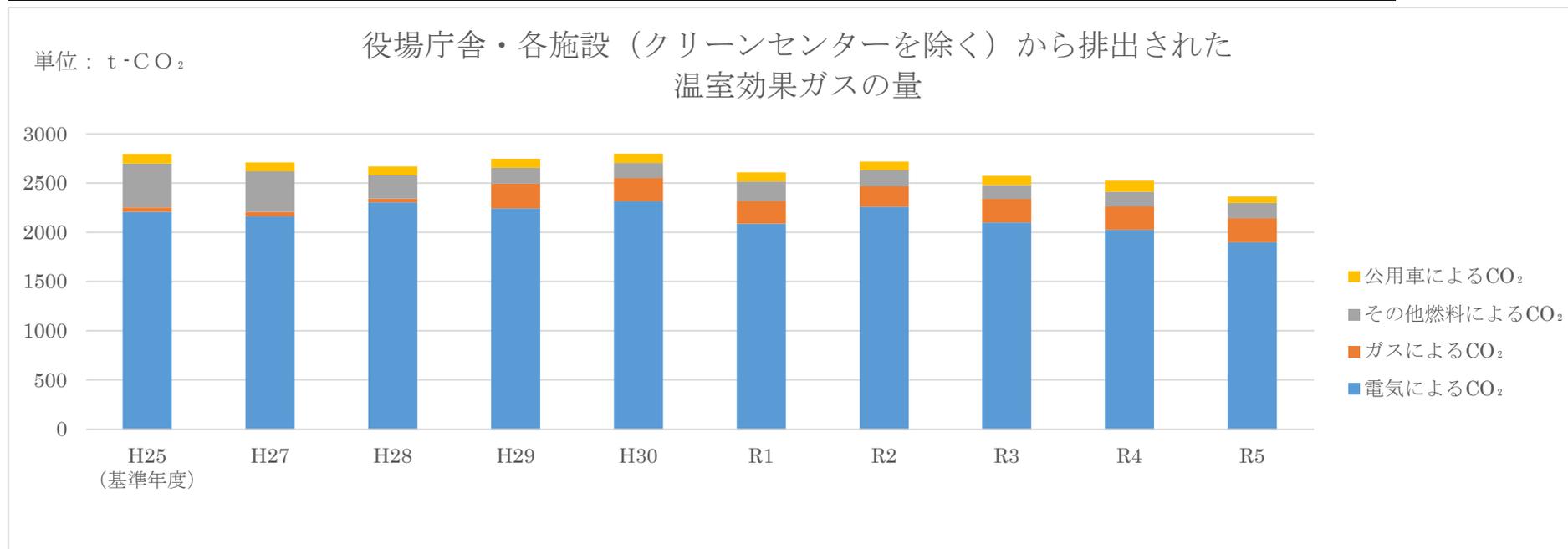
また、「公用車関連使用量」では消防の広域化により伊奈消防の車両が減ったことにより温室効果ガスの排出量は減少しましたが、さらなる啓発が必要です。

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
温室効果ガス排出量の合計	2,709	2,667	2,748	2,799	2,608	2,716	2,573	2,523	2,363

※合計値は小数点以下を四捨五入しております。

<内訳>

電気使用量	2,163	2,301	2,242	2,316	2,086	2,259	2,098	2,023	1,896
ガス使用量	43	40	250	235	232	211	240	241	243
その他燃料使用量	412	235	160	152	197	160	142	149	155
公用車関連使用量	89	90	95	95	93	86	93	110	66



クリーンセンター（町全体のごみ焼却）から排出された温室効果ガスの量（t-CO<sub>2</sub>）

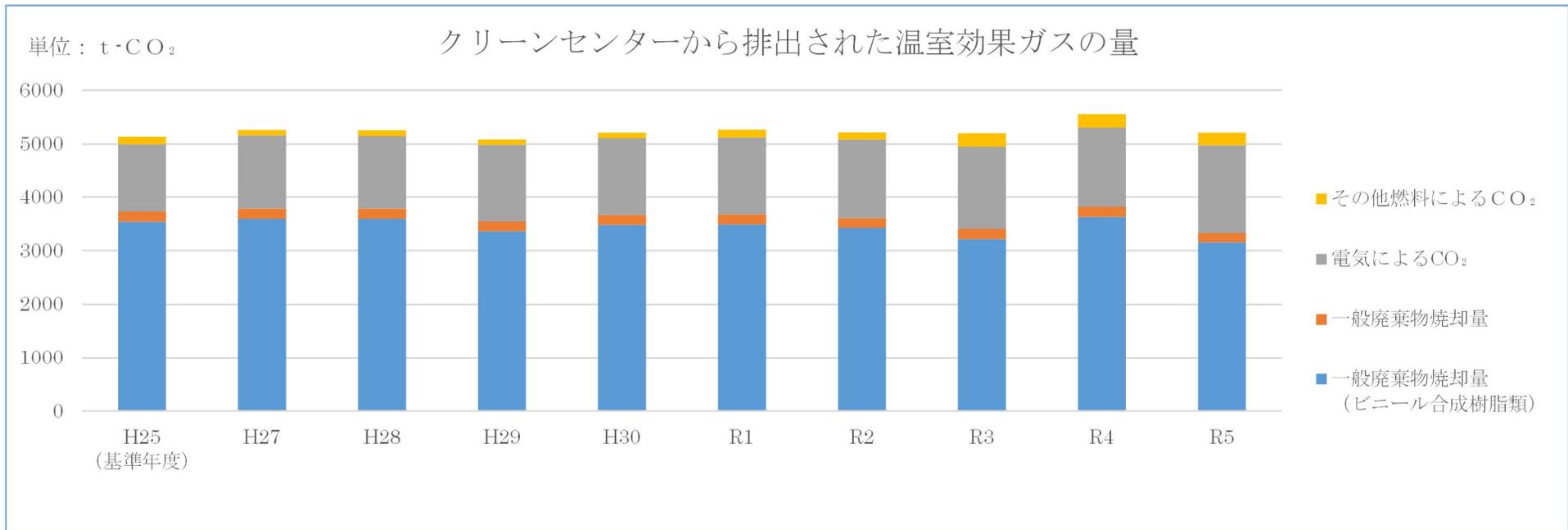
令和5年度においては、炉を一時的に休止したことによるごみ焼却量の減少、ビニール合成樹脂類の一般廃棄物焼却量が減少したことにより温室効果ガス排出量が減少しています。しかしながら、炉の減少（2基から1基）に伴い24時間焼却となったことから、施設稼働に伴う「電気使用量」による温室効果ガスの排出量は増加しています。

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
温室効果ガス排出量の合計	5,257	5,254	5,084	5,210	5,263	5,214	5,199	5,554	5,209

※合計値は小数点以下を四捨五入しております。

<内訳>

一般廃棄物焼却量 （ビニール合成樹脂類）	3,590	3,590	3,359	3,478	3,489	3,425	3,212	3,625	3,155
一般廃棄物焼却量	195	195	183	189	186	182	193	191	170
電気使用量	1,375	1,361	1,444	1,440	1,447	1,476	1,544	1,485	1,649
その他使用量	97	108	98	103	141	130	249	252	235



## 2 伊奈町役場における温室効果ガス排出抑制の意識付けについて

伊奈町役場職員による温室効果ガス排出抑制における毎年度の意識調査の結果です。

各項目を「0点：実行していない」、「1点：時々実行している」、「3点：常に実行している」で点数付けを行っています。

未だに「電気使用量の削減」や「公用車燃料使用量の削減」の点数が低いため、今後も職員の温室効果ガス排出抑制に対する意識付けを進めてまいります。

### ◎伊奈町役場における温室効果ガス排出抑制について

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
電気使用量の削減	2.1	2.1	1.9	2.0	1.8	1.8	1.7	1.8	1.8

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
公用車燃料使用量の削減	1.9	2.0	1.9	1.9	1.7	1.6	1.7	1.8	1.9

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
用紙類の削減	2.6	2.6	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
水使用量の削減	2.9	2.9	2.8	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.9

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
廃棄物の発生抑制	2.1	2.2	2.2	2.3	2.2	2.2	2.1	2.2	2.1